

1月定例会議議事録

【1月16日（土）1445～1745：ウッドオフィス 5F 会議室】

1 参加者（7名）

吉田明生、名取貞、里雅之、柏木白光、中野晴生、東谷淳、杉山理

2 議事（要旨）

(1) プレゼン資料

- ア 名誉会長
- イ 組織機能
- ウ 事業構想

(2) 日本財団「海と日本PJ」参加の構想

日本財団との調整（来週？）に提示する資料に基づき説明。

(3) 討議内容

ア 組織関連

- ・法律に基づいて、忠実に、組織図を記述する。
- ・社員総会の下に、経営会議を置く。メンバーは提案の通り。
- ・現在の理事及び事務局員全員を社員、理事、または監事とする。
- ・定款に定める社員資格規程は、簡潔明瞭に、分かりやすく修正する。
- ・防災グッズ販売を（株）防災グッズ工房に業務委託する。
組織図上に明記し、疑義が出された場合には、業務委託契約内容を提示する。
- ・杉山氏は、社員とする。
- ・東谷氏は（株）おみくじ工房から研究所に派遣され従来通り活動し、理事とする。
- ・監事を置く。（柴原氏）

※討議結果は、「災害防止研究所プレゼン資料（3.1.17）」に記載。

イ 日本財団関連

- ・2月初に、プレゼン予定。現在、担当者とプレゼン案を調整中。
- ・堅実、段階的に進める。

- ・基礎自治体、防災グッズ展と連携させたい。
- ・スポーツ庁長官賞を受賞した「防災スポーツ」との連携を図りたい。
- ・カヌーイング協会は、海プロとの連携の可能性が大。

ウ 事業関連

- ・事業計画は、不明、未確定なところが多いので、状況の進展に合わせて逐次に具体化する。
- ・第3回防災グッズ展は、ビジネスガイド社のギフトショーとの連携を調整し、具体化する。
- ・防災グッズ展の成果を拡大し、防災グッズの販売、災害編対処要領の普及等へつなげる。
- ・(株)防災グッズ工房と連携したHP活動を進めたい。
- ・自治体との連携を通じて、「自助」から「共助」へとつなげたい。
- ・「龍神プロジェクト」の名称は、やや宗教色があり、「竜の子プロジェクト」の方が良い。キャラクターグッズ等は、イベントで子供への広報効果大。
- ・FM北海道のラジオ配布施策との連携を推進する。
- ・防災グッズ大賞商品は、販路を持たない新規企業開拓、法人会員勧誘に努める。
- ・京王デパートへの出展は、個別に調整中。
- ・「心の癒やし研究所」展示ルームの概要及びコンセプトについて、説明。

以上